

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP-S1-24	研究期間	承認日より 2030 年末迄
研究課題名	コピュラモデルに基づく左側切断競合リスク分析-寿命調査データへの適用		
研究責任者（所属）	江村剛志（統計数理研究所）		
放影研での研究責任者	坂田 律		
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的： 研究の対象とした集団で観察が始まる前に起きた観察対象のことがら（左側切断とよびます）、観察対象のことがらが観察できなくなるような別のことがらの存在（競合リスクとよびます）、および観察された因子だけでは説明できないばらつき（未観測不均一性とよびます）の 3 つを調べます。一般に、これらを適切に考えにいていない解析は、影響を調べる上で、多かれ少なかれかたよりを起こす可能性があります。この研究では、原爆被爆者を対象とした寿命調査(LSS)の調査資料に最新の分析方法を使い、このような要因による隠れていた影響を調べることを目的としています。 利用方法： 放影研 LSS 集団のがんによる死亡またはがんにかかったことに関する調査情報に、最新の分析方法を使い、放射線影響を見積もる上での、上で説明した左側切断、競合リスク、および未観測不均一性による隠れた影響を評価します。		
他の機関への提供の有無	☒ 有 提供先機関名：統計数理研究所、久留米大学バイオ統計センター、北里大学、がん登録実施機関		
	☐ 無		
利用し、又は提供する試料・情報の項目 (提供する試料・情報の取得の方法)	基本情報： 被爆都市、性別、生年月日(年月のみ)、LSS 調査開始日 被ばく情報：被爆時在市/不在市の別、爆心地からの距離（近距離/遠距離を含む）、放影研の前身である原爆傷害調査委員会(ABCC) が実施した面接調査で得た情報に基づき放影研が採用する方法で見積もられた被曝線量（個人を特定できないように 3 桁に切り捨てる） 追跡状況(2009 年迄)：追跡状況、ご生存を確認できた最も新しい日（生存の場合、年月のみ）、死亡日(死亡の場合、年月のみ)、国の人口動態調査データの利用により得た死亡の原因(国際疾病分類の記号)		

	利用申請の承認に基づき広島・長崎の地域がん登録から提供されるがんにかかったことに関する情報(2009 年迄): 記号化したがんの部位および形態、悪性または良性の別、左右の別、診断された年月、記号化された診断名、診断方法、病気の進行の程度、受診理由、死亡診断書のみからの情報である場合についての指標、診断された時に住んでいた場所(市内、市外、県外)。ABCC 剖検プログラムを通じて得られた解剖でのみ診断されたがんの指標。 居住確率 広島・長崎の地域がん登録から、がん罹患情報を提供される際、個人照合のために、対象者の氏名、性別、生年月日及び住所をがん登録事業実施機関に提供する。 がん登録から提供された情報を除く、情報の収集方法の詳細はこちらの放射線影響研究所要覧をご覧ください。 (https://www.rerf.or.jp/uploads/2017/07/briefdescript_j.pdf) 情報提供元: (公財) 放射線影響研究所 理事長 神谷 研二 2025 年 3 月 27 日から、利用・提供を開始しています。
利用する者の範囲	統計数理研究所 江村剛志 久留米大学バイオ統計センター 古川恭治 北里大学 道前洋史 放射線影響研究所 坂田律 杉山裕美 門脇ゆう子 三角宗近
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	古川 恭治 (久留米大学バイオ統計センター) 坂田 律 (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名: 坂田 律 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所: 広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL: 082-261-3131